

ジャンゲル菜園にいた虫退治

秩父市立大田小学校 六年 木本 大貴

今年の夏休みは今まで生きてきた中で一番暑くて、外でサッカーの練習を五分やっただけで汗だくになり、水分が欲しくなりました。自然の風は熱風で全然涼しくありませんでした。家の畑を見たら、野菜の苗たちがぐったりにしていました。ぼくは学校のクラス菜園の様子に気がなって見に行きました。久しぶりに見たクラス菜園はジャンゲルでした。草が

たくさん生えていて、ぼくの腰辺りまで伸びていました。きゅうりとトマトの苗は暑さでほとんど枯れていて、サツマイモの苗のツルは元気よく伸びていました。ピーマンの苗は色も良く、実も六個ついていて元気に育っていました。よく見るとたくさんのお虫がついていて、それはワックサだと分かりました。どうしたらいなくなるのかおばあちゃんに聞くと、一匹ずつ取って、周りに生えている草を抜いて風通しと水はけをよくするといひよ

と教えてくれました。次の日ピンセットで一匹ずつワックサを捕ってペットボトルに入れてキャップをしめました。五十匹くらいいたので取るのが大変でした。抜いた草を集めると大きな山になりました。クラス菜園はともスッキリしました。その後何度か水やりに行きました。もう今はワックサもいなくなり野菜の苗もうれしそうです。元気に育っているサツマイモを秋に収穫するのが今から楽しみです。